

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1354
施設名	平河町ちとせ保育園
施設所在地	千代田区平河町2-10-3
法人名	社会福祉法人 ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・光 (5歳児)

<テーマの設定理由>

・しゃぼん玉、色水遊びの活動から、色や光の不思議さに興味を持ち「ひかりっておもしろい！」から探究活動が始まった。

2. 活動スケジュール

7月: 大型電子黒板を使って保護者に光の探究活動についての話をした。

8月: 光に触れてみよう! 作りたいものを作ってみよう!

9月: チームラボ見学

12月: チームラボ作りに向けての話し合い・製作開始

2月: たいよう組「チームラボ」に招待

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・大型電子黒板・ライトテーブル・懐中電灯・ライト
- ・ピタゴラス・ウォーターブロック・色水・積木・カラーブラコップ
- ・チームラボ麻布台見学

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・光との出会い（自由に試しながら光や色の変化を楽しむ）
- ・作りたいものを作る（目的をもった製作活動・繰り返し試行する姿）
- ・本物体験でイメージが広がる（チームラボ見学）
- ・たいよう組チームラボ作り（園の子どもたち・職員を招待）
- ・遊びから探究、そして表現へと発展していった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・子どもたちが興味を持って探究活動に入ったが、2回目の活動から固定化され、新しい発想が出にくくなり、手が止まり「どうしよう」と考える姿が見られた。そこからチームラボ見学を取り入れると、子どもたちのイメージが広がり、空間全体で光を楽しみ「すごい」「やってみたい！」新たな視点を獲得し再び主体的に活動へと向かう姿が見られた。体験を自分たちの活動に取り入れ、話し合いの中で他クラスの子どもたちや先生にも「見てもらいたい」という思いが強くなり、たいよう組チームラボ作りの活動が始まった。保育者の関わりとして、環境構成を工夫し、自由に試せる場を保障した。本物体験を取り入れ、視点を広げた。子どもたちに問いを投げかけたり、思いや気づきを言葉にする支援を行った。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子どもたちの興味から始まった探究が一度行き詰ったが、否定せず次の学びに繋がれたことがよかったと思う。
- ・何度か話し合いを重ね、子どもたちが主体的に役割分担し、協力して進める様子から言葉で考えを共有する姿、感じた事を形にする姿、協力する姿などたくさんの姿が見られ成長を感じる事ができた。
- ・今後も、子どもの姿を丁寧に捉えながら、環境と体験をつなぎ、探究を支えていきたいと思っています。